

## 2

## 人間ドック

### 1 調査目的

がん検診における発見がん患者の精密検査結果の詳細を把握することにより、検診の評価を行い、精度管理の維持・向上を図る。

### 2 調査対象

平成27年度の間人間ドックにおける胃・肺・大腸・子宮・乳・前立腺等の各がん検診受診者のうち、精密検査結果が「がん」または「がん疑い」と報告のあった者。

### 3 調査内容

調査内容は、当事業団が実施した胃・肺・大腸・子宮・乳・前立腺等の各がん検診における発見がん患者の精密検査結果および治療状況等とし、各がん取り扱い規約に基づいた内容について更なる詳細結果（報告）を求めた。

#### 1] 取得方法

調査依頼先に対象者の発見がん追跡調査票を書留にて郵送し、回収した。

#### 2] 調査依頼先

対象者の精密検査結果報告が提供された医療機関、または紹介先医療機関

#### 3] 調査期間

初回調査：平成28年9月～10月

再調査：平成28年11月～12月

再調査は、以下の場合に実施

- (1) 初回調査の結果、転院が判明した者
- (2) 初回調査後、新たに精密検査結果が「がん」または「がん疑い」で戻ってきた者

# 1 平成27年度 人間ドックにおける発見がん追跡調査結果

平成29年1月31日現在

	胃がん		肺がん*		大腸がん	子宮頸がん	子宮体がん
	X線	内視鏡	X線	CT			
受診者数	8,247	2,178	10,403	817	11,243	2,978	240
要精検者数	599	117	69	4	479	80	1
要精検率(%)	(7.3)	(5.4)	(0.7)	(0.5)	(4.3)	(2.7)	(0.4)
精検受診者数	426	77	55	3	315	57	1
精検受診率(%)	(71.1)	(65.8)	(79.7)	(75.0)	(65.8)	(71.3)	(100.0)
追跡調査数	2	1	8	1	7	0	1
追跡調査回収数	2	0	8	0	4	0	1
追跡調査票回収率(%)	(100.0)	(0.0)	(100.0)	(0.0)	(57.1)	(0.0)	(100.0)
発見がん数	2	0	2	0	4	0	1
がん発見率(%)	(0.02)	(0.00)	(0.02)	(0.00)	(0.04)	(0.00)	(0.42)
早期がん数	2	0	0	0	4	0	1
早期がん割合(%)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)	(0.0)	(100.0)
陽性反応適中度(%)	(0.3)	(0.0)	(1.7)	(0.0)	(0.8)	(0.0)	(0.4)

\*最終読影の結果、がん以外で要精検となった者4名（X線：3名、CT：1名）は除く

	乳がん	前立腺がん	腹部超音波	食道がん	甲状腺がん
受診者数	3,490	1,898	11,591	10,425	601
要精検者数	204	76	257	716	19
要精検率(%)	(5.8)	(4.0)	(2.2)	(6.9)	(3.2)
精検受診者数	174	51	177	503	15
精検受診率(%)	(85.3)	(67.1)	(68.9)	(70.3)	(78.9)
追跡調査数	10	19	2	3	0
追跡調査回収数	10	19	2	2	0
追跡調査票回収率(%)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(66.7)	(0.0)
発見がん数	9	10	2	1	0
がん発見率(%)	(0.26)	(0.53)	(0.02)	(0.01)	(0.00)
早期がん数	8	8	2	1	0
早期がん割合(%)	(88.9)	(80.0)	(100.0)	(100.0)	(0.0)
陽性反応適中度(%)	(4.5)	(13.0)	(0.7)	(0.1)	(0.0)

## 2 まとめ

平成27年度より胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん、前立腺がん、腹部超音波検査、甲状腺がんに加えて、食道がんにおける追跡調査を実施した。

平成27年度の各がん検診精検受診率は、前年度と比較すると、胃X線検査は3.0%、大腸がん検査は5.2%、子宮頸がん検査は1.4%、前立腺がん検査は9.0%、腹部超音波検査は7.9%上昇したが、胃内視鏡検査は9.4%、胸部X線検査は6.0%、胸部CT検査は5.0%、乳がん検査は2.0%、甲状腺がん検査は4.4%低下した。

平成27年度より精検受診率向上を目的として、当日結果が分かる胸部X線検査、大腸がん検査、前立腺がん検査については保健師が受診勧奨を実施しているが、精検受診率が低下している項目があることから、今後も精検受診率向上のための保健指導や受診勧奨の工夫など、さらなる取り組みが必要である。